

第4回 EBPM推進委員会（令和6年9月26日）
議事要旨

【開催日時】

令和6年9月26日（木）14時00分～15時00分

【場 所】

オンライン開催

【出席者】

（構成員） 阪田 渉 内閣官房副長官補（内政担当）を始めとするEBPM推進委員会構成員

（関係者） 各府省会計課長等

【議 事】

1. 各府省における取組紹介
2. 今後の取組の進め方
3. EBPM推進に係る関係省庁の取組について
4. 会長発言

【議事の経過】

1. 各府省における取組紹介
防衛省及び法務省から、優良事業改善事例、EBPM人材育成の取組等について、紹介が行われた。（資料1、2）
2. 今後の取組の進め方
行政改革推進本部事務局から、今後の取組及び「行政事業レビューシート作成ガイドブック」について説明が行われた。（資料3、4-1～4-4）
3. EBPM推進に係る関係省庁の取組について
総務省行政評価局及び総務省政策統括官室から、実証的共同研究、公的統計の二次的利用について、紹介が行われた。（資料5、6）
4. 会長発言
会長である阪田内閣官房副長官補から発言があった。要旨は以下のとおり。

- 昨年から引き続き、EBPM推進委員会でお伝えしているように、レビューシートにおいて「政策効果の発現経路と目標をロジカルに説明し、事後的にデータに基づいて見直す」というごく当たり前のことを着実に行うことを徹底するという方針は変わらないのでよろしく願います。

- 1点目。今年度よりレビューシートなどの作成がシステム化され、9月より、全府省庁のシートが、「行政事業レビュー見える化サイト」で一元的に一般公開されたところ。今後も「見える化」やデータ利活用について改善方策の検討を進めていく。各府省庁においても、レビューシートの更なる質の改善に向けて幹部・管理職が責任を持って取組を継続してほしい。各府省庁の負担軽減につながるよう、引き続き行革事務局等からも支援をしていく。

- 2点目。EBPMを各府省庁において継続的な取組とすることで、政策立案の質を高め、PDCAのA、事業の改善につなげることが重要である。原課担当者任せにせず、各府省庁の行政事業レビュー推進チームが積極的に関与して、事業の改善に向けた自己点検に取り組んでいただきたい。自己点検において、事後的にデータに基づいて見直すことで、その事業が改善につながっているかが明らかになり、レビューシートの予算編成過程での活用が進み、予算と政策の質の向上につながるものと考えている。

- 3点目。デジタル行財政改革会議の取りまとめにおいてEBPMの推進を担う人材の育成が重要であるとされているところ。行革事務局でさらに議論を深めることとしているが、各府省庁においてはレビューの取組を通じて、幹部が考えている政策目的や課題認識、政策の目指す効果を広く共有することを意識していただきたい。これにより、コミュニケーションを活性化し、若手職員がこれまで以上にやりがいをもって政策立案に参画するプロセスを作っていただきたい。このほか、やる気がある若手職員が積極的にEBPMに取り組むことができる環境を整えることについても、各府省庁内で徹底してほしい。

以上、3点よろしく願います。

以上